

# 西の里

令和3年 1月 特別号

発行者

北広島市立西の里小学校

校長 中川 幹彦

## 【本年度の重点目標】

創意を生かして「知・徳・体」のバランスのとれた教育活動を推進し、一人ひとりの子どもが、楽しく・豊かに学ぶことのできる学校を創る。

## 【小中一貫教育：目指す子ども像】

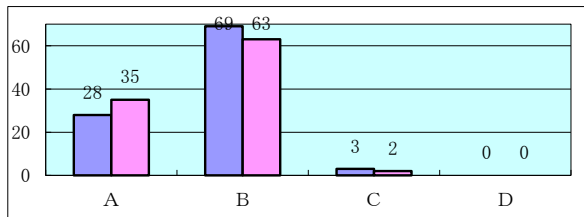
「笑顔、温もり、  
未来へつなげる里っ子バトン」

## 保護者アンケートの集約結果について

保護者の皆様方に、昨年ご協力をいただき実施いたしました「保護者アンケート」の集約結果をお知らせいたします。児童数でアンケートの回答をお願いしたところ、回収数は353件、回収率は94%でした。ご協力ありがとうございました。また記述欄には、心温まる感想や貴重なご意見等が寄せられ、職員による自己評価（1年間の振り返り）の参考にさせていただきました。今後は、自己評価と学校評価の結果を踏まえ、新年度の方針や計画を進めてまいります。

A—よく当てはまる B—おおむね当てはまる C—やや当てはまらない D—当てはまらない  
※数値は回収数に対する割合を表しています。小数第一位を四捨五入しているため、0%の箇所があります。

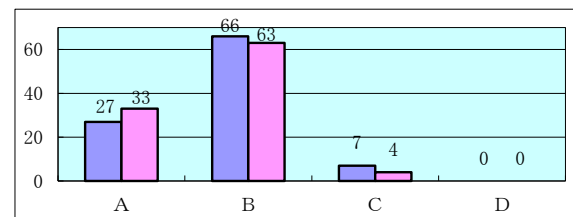
1	学校は、「知・徳・体」の教育活動をバランスよく実施し、総合的に児童を伸ばしていると思いますか。		R1	R2
		A	28	35
		B	69	63
		C	3	2
		D	0	0



【A・B総合評価 **98%** R1…97%】

ほぼ全ての家庭が、総合的に児童を伸ばしている（よく当てはまる・おおむね当てはまる）と評価しています。学校では、今後も適切な「知・徳・体」の教育活動を実施し、児童の力を伸ばすことに努めていきます。

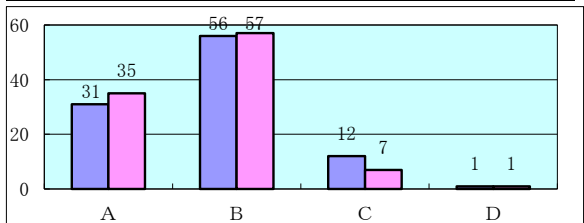
2	学校は、子ども達に、人の意見をよく聞き、進んで発表する力を育てていると思いますか。		R1	R2
		A	27	33
		B	66	63
		C	7	4
		D	0	0



【A・B総合評価 **96%** R1…93%】

昨年よりAの評価が上がり、ABの総合評価では昨年度を3ポイント上回る結果となりました。新学習指導要領に係る日常的な授業改善により、主体的に学習に取り組み、自ら発表する力が身についてきたものと考えます。

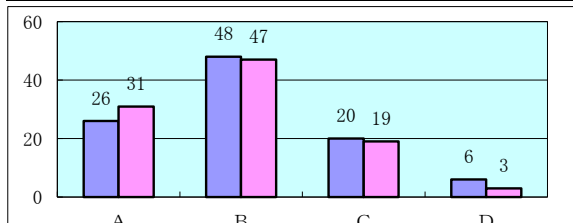
3	学校では、一人一人の理解状況に合わせた多様な指導で、基礎学力の定着を図っていると思いますか。（TT指導、個別指導、朝自習、計算タイム）		R1	R2
		A	31	35
		B	56	57
		C	12	7
		D	1	1



【A・B総合評価 **92%** R1…87%】

昨年度から実施している算数科の「習熟度別少人数指導」により、個に応じた指導の展開が基礎学力の定着につながってきたものと考えます。今後も、子どもたちの理解・習熟の実態を把握しながら指導を進めていきます。

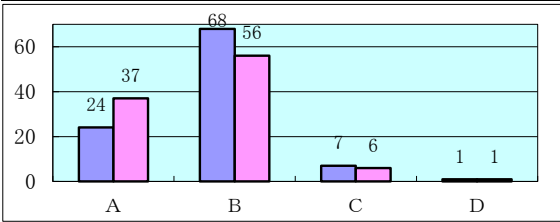
4	お子さんは、学習習慣を身につけ、宿題や家庭学習にも自ら取り組んでいると思いますか。		R1	R2
		A	26	31
		B	48	47
		C	20	19
		D	6	3



【A・B総合評価 **78%** R1…74%】

コロナ禍による長期の臨時休業等により、各家庭にはご負担をおかけしましたが、子ども達の自ら取り組む様子は向上してきたと考えます。しかし、昨年度に引き続きCD評価が20%を超えていることから、今後も家庭と学校が連携しつつ、改善を図りたいと考えます。

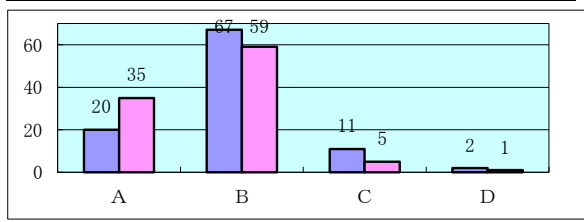
5	学校では、読書や様々な体験活動、心に響く道徳教育等を展開して、子ども達の豊かな心の育成が図られていると思いますか。		R1	R2
		A	24	37
		B	68	56
		C	7	6
		D	1	1



【A・B総合評価 **93%** R1…92%】

コロナ禍による様々な制限はありましたが、各学年の体験的活動に関する学習や「特別の教科：道徳」の継続した指導、さらに各関係機関(「はびらりい」等)の協力により、豊かな心の育成が図られてきたと考えます。

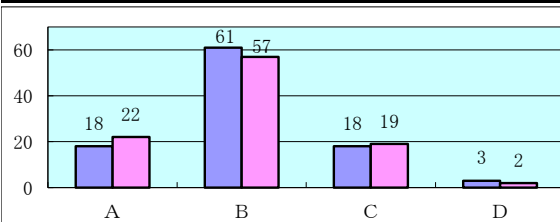
6	学校は、きめ細かな児童理解、適切な人間関係の形成、誠意ある教育相談(保護者・子ども)をして子どもの居場所づくりに努力していますか。		R1	R2
		A	20	35
		B	67	59
		C	11	5
		D	2	1



【A・B総合評価 **94%** R1…87%】

本アンケートの中で、昨年比が最も高かった(7ポイント)項目でした。これまでも、学校では定期的な児童の実態交流を行い、情報を共有しながら児童理解に努めてきました。今後も、家庭との連携を強化しながら、教育相談での「心の教室」活用や相談室対応など、居場所づくりを継続していきます。

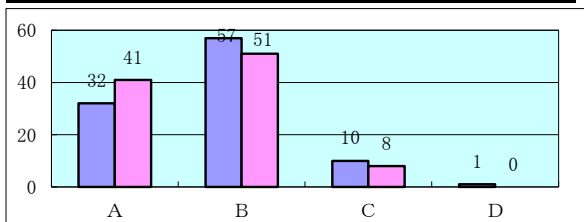
7	お子さんには、「3つのあ(挨拶・安全・後始末)」など基本的な生活習慣が身についていると思いますか。		R1	R2
		A	18	22
		B	61	57
		C	18	19
		D	3	2



【A・B総合評価 **79%** R1…79%】

総合評価は、昨年度と変わらないものとなりました。校内生活では、あいさつの習慣が身についている児童が多いものの、学年による差が見られることも事実です。指導を要する児童や、学校外での安全・挨拶について課題が見られますので、地域からの情報を得ながら、今後も継続して指導を続けていきます。

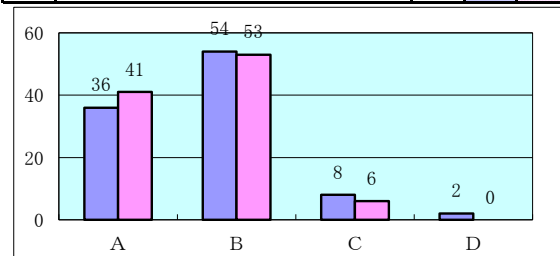
8	学校は、体力づくり・遊びの奨励や運動環境の整備を進めることで、お子さんの運動に親しむ態度を育てていると思いますか。		R1	R2
		A	32	41
		B	57	51
		C	10	8
		D	1	0



【A・B総合評価 **92%** R1…89%】

コロナ禍による制限の中、体育授業や短縄の取組等を通して、体力づくりに努めてきました。休み時間の十分な確保や体を動かす遊びの奨励は十分ではありませんでしたが、今後も改善を図りながら運動に親しむ態度を育てていきたいと考えます。

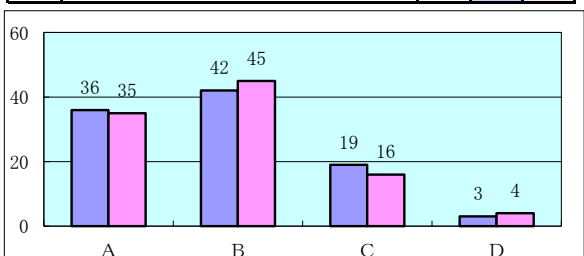
9	学校は、お子さんの健康安全に気を配り、関係機関とも連携した安全防犯対策に努めていると思いますか。		R1	R2
		A	36	41
		B	54	53
		C	8	6
		D	2	0



【A・B総合評価 **94%** R1…90%】

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの教育活動となりましたが、総合評価からも一定程度の評価を得られたと考えます。安全防犯対策については、今後も関係機関との連携を強化しながら取り組みを進めていきます。

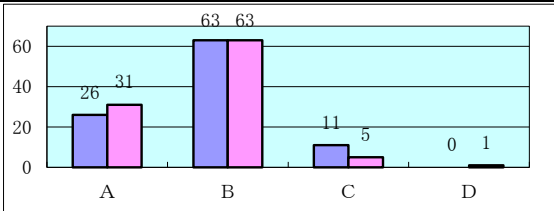
10	お子さんには、「早ね、早おき、朝ごはん」など規則正しい生活リズムが身についていると思いますか。		R1	R2
		A	36	35
		B	42	45
		C	19	16
		D	3	4



【A・B総合評価 **80%** R1…78%】

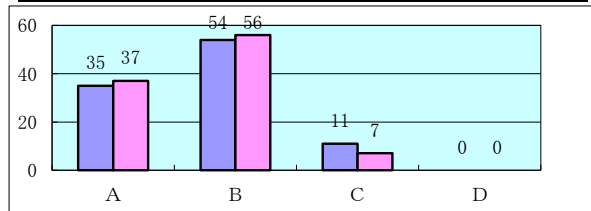
年度当初の長期臨時休業等により、生活リズムを整えることが難しかったと考察します。寝不足や朝食をとっていない児童の様子も見られました。今後は、アウトメディアの取組も検討しつつ、家庭と学校で情報交換しながら、生活リズムの改善に努めて

11	学校は、地域の自然や環境、人材を生かした「環境・福祉・人権・平和教育」を推進し、特色ある教育活動を行っていると思いますか。(コロナ禍による取組の制限あり)		R1	R2
		A	26	31
		B	63	63
		C	11	5
		D	0	1



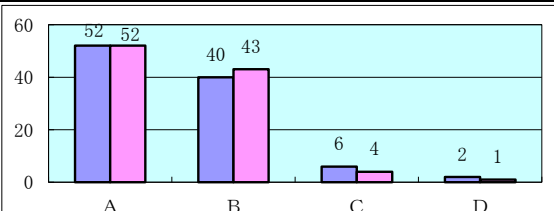
【A・B総合評価 **94%** R1…89%】  
 コロナ禍により、総合的な学習の時間等では関係団体からの人材派遣に制限がありましたが、特色ある教育活動を進めることができました。また、里小教材園の新設により、充実した学習を進めることもできました。今後も更に改善を図りながら推進していきます。

12	学校は、PTA総会(里小説明会)、懇談、各種通信、ホームページなどにより教育活動を分かりやすく伝えていると思いますか。(コロナ禍による取組の制限あり)		R1	R2
		A	35	37
		B	54	56
		C	11	7
		D	0	0



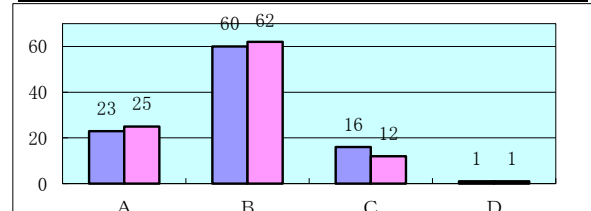
【A・B総合評価 **93%** R1…89%】  
 PTA活動の制限や懇談会の中止などにより、十分な発信ができませんでしたが、様々な方法を駆使しながら教育活動をお伝えしてきました。今後も、各種通信(ホームページ)等でお伝えする内容に改善を加えながら、より教育活動がご理解いただけるよう努めて参ります。

13	お子さんのことで気になったことがあった場合、学校(担任)に、連絡・相談できますか。		R1	R2
		A	52	52
		B	40	43
		C	6	4
		D	2	1



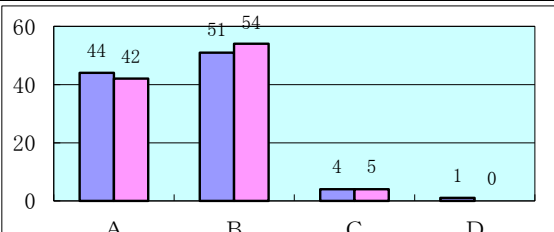
【A・B総合評価 **95%** R1…92%】  
 今年度は、来校していただく機会が少なかったものの、適宜各ご家庭との連絡や相談を進めてきたことにより、ABの総合で高い評価をいただきました。お子さんのことで気になることがありましたら、いつでも連絡・相談していただいて構いませんので、これまで同様宜しくお願いいたします。

14	西の里中学校との連携のもと、系統的・継続的な教育活動が展開されていると思いますか。(西の里スタンダードを目指した活動、乗り入れ授業、学習規律の統一等)		R1	R2
		A	23	25
		B	60	62
		C	16	12
		D	1	1



【A・B総合評価 **87%** R1…83%】  
 西の里中学校区では、小中一貫教育の系統的・継続的な教育活動について成果を発信するため、石狩管内規模の研究会を開催しました。しかし、保護者の皆様への説明・啓発については十分ではありませんでしたので、今後も系統的な教育活動を推進しながら、西の里の子どもたちを9年間でしっかり育てていきます。

15	学校、保護者、地域(健連協、まなび〜、シルバーPTAなど)が支えあい、連携しながら西の里の子ども達を育てていると思いますか。(コロナ禍による取組の制限あり)		R1	R2
		A	44	42
		B	51	54
		C	4	4
		D	1	0



【A・B総合評価 **96%** R1…95%】  
 西の里地区は、児童生徒の育成に対する意識が高く、協働体制も整っています。コロナ禍ではありましたが、安全に関することから社会教育に関することまで連携が図られていますので、今後も保護者・地域のご意見を拝聴しながら教育活動を進めて参ります。

## 【本年度の重点目標】

創意を生かして「知・徳・体」のバランスのとれた教育活動を推進し、一人ひとりの子どもが、楽しく・豊かに学ぶことのできる学校を創る。

## 【小中一貫教育：目指す子ども像】

「笑顔、温もり、未来へつなげる里っ子パトーン」

【記述欄より】※全ての内容を記載できず、要約した記述とさせていただきますことをご容赦ください。

## 1. 今年度の教育活動のよいと思うところ ～以下、複数の方が記述された類似内容をまとめました～

- 学校現場でのコロナ感染対策は、本当に大変だと思います。その都度、感染症対策をしっかりと考え、実行していただき感謝しています。
- さまざまな行事においては、中止ありきではなくどうすれば実施できるか、子ども達のためにしっかり考えて下さるのが良くわかります。
- 運動会、修学旅行、宿泊学習、学習発表会、現地学習等の行事を実施していただき感謝しています。
- 全て良いと思います。教職員の皆さんが一番がんばっている様に思います。
- 状況に応じて感染症に関する対策は変化していくと思うので、今のように柔軟な対応で良いと思います。
- 感染症や熱中症対策に関する取組（フェイスシールド、足踏み式の手指消毒用装置、扇風機の設置等）が良かった。
- 休校中動画配信で課題のサポートをしていただき、やる気にもつながってとても良かった。
- 臨時休業中に、自宅で作れるプリントをたくさん配布されて良かった。
- 適切なメール配信や文書・HP等による情報発信が良かった。（コロナ関連・変質者情報関連等）
- 行事写真の注文がインターネットでの対応になったこと。
- 新しい学校菜園の整備や植物を育てる活動は良い取組だと思います。
- 子ども同士のトラブルに対し、いじめアンケートや聞き取り等の丁寧な対応をしていただきありがたく思います。
- コロナ禍による制限がある中で行われた運動会はとても良かった。 / ・次年度以降も今年度同様の開催方法が良いと思う。
- 感染症対策を踏まえた学習発表会が実施され、子ども達のがんばる姿を見ることができ嬉しかった。

## 2. 今年度の教育活動で改善したほうがよいと思うところ ～以下、複数の方が記述された類似内容をまとめました～

- マスク着用の仕方※など、家庭でも指導しますが、学校でも感染症対策を徹底してほしいと思います。
- ※マスク着用の仕方…必要以上にマスクをはずす、マスクから鼻を出す、給食時の対応、登下校時の着用等の記述がありました
- 手指消毒用アルコールを設置してほしい。
- 感染対策に重点を置き、運動会・学習発表会・個人懇談・学年レク・スキー学習等は中止にしてもよいと思う。
- リモートでも授業ができるようにしてほしい。
- コロナの影響で参観日が無くなり、教室の様子がわからないので、もう少しお便りやHPなどで発信してもらえるとありがたいです。
- 臨時休業中の課題が多く、点検などを含めた親の負担が大きかったように思います。
- 夏休みの縮減、新たな土曜授業の設定、日課の変更（6時間授業日の増加）など、子ども達への負担が心配です。
- 小中一貫教育の取組について、目的や意義は伝わるが、小中の教職員でどのような情報が共有されるのか発信してほしい。また、取組の具体的な内容や児童の様子を伝えていただきたいと思います。

## 3. その他

- 先生方の負担が少しでも減るように改善して下さい。
- 水筒を持参できているのはよい思います。
- 児童会の活動でzoomで姉妹都市交流をしたこと。
- 今年度は学校生活が見えず、アンケートに答えづらいものが多かったので「わからない、判断できない」等の欄があるとよかった。
- スクール便を利用する児童へのコロナ対策をお願いしたい。

## 【学校としての見解】

- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策に関する事が多く記述されていました。その内容は、これまでの学校の取組を評価していただき、感謝のお言葉をたくさんいただきました。心より御礼申し上げます。一方で、感染症対策の具体的な内容に対し、改善のご意見もいただきました。感染症対策については、国や市の予算に関連すること（上記の手指消毒用アルコール・リモート学習の件）が多く、十分に措置できない取組もあり、心苦しく思っているところです。令和3年度においても、「学校の新しい生活様式」とともに上記の改善点を踏まえながら教育活動を進めて参りますので、お気づきの点はいつでも学校までご連絡いただきたいと存じます。
- コロナ禍での教育活動内容については、感染対策と教育的効果のバランスを十分に踏まえ、その都度最善の方法を協議しながら判断して参ります。
- 授業時数の確保や学びの保障については、国が定める義務教育の標準授業時数を確保しなければならないため、4～5月の臨時休業により失われた授業（時数）を補う必要があります。子ども達への負担や各ご家庭の対応は大変だったことと思いますが、やむを得ない措置としてご理解いただきたく存じます。
- 小中一貫教育の取組については、今年度の石教研学校課題研究発表会での研究協議を通して、小中学校9年間の教育課程の系統やめざす子ども像の共有、「わかる・はなす・みにつく」授業による学力の向上など、一定程度の成果が確認されました。しかし、コロナ禍による取組の制限もあり、計画通りに推進できなかった反省もあります。また、保護者の皆様への情報提供も十分とは言えませんでしたので、次年度は今年度以上に多くの情報を発信して参ります。
- 令和3年度の保護者アンケートの際は、回答欄に「わからない」の項目を追加いたします。（昨年度のアンケートにも同様の意見がありましたが、今回の改善を失念しておりました。大変申し訳ございませんでした。）